

卒業の認定方針（ディプロマポリシー）

卒業の決定については各学修評価の結果並びに学則に則り、職員会議にて卒業要件や取得単位の確認等厳密な審査を行っている。その方法については学生便覧に記載の上、当該学生への周知徹底を図っている。

岩手リハビリテーション学院の教育理念のもと、チーム連携の中で理学・作業療法士としての役割と責任を理解し、その環境に応じた対応と対象者の多様なニーズに応えるためにより高い専門技能を提供できる人材に成長することを目的とした教育を行う。各学科が掲げた目標に従い、学則で定められた教育課程全てを履修し単位を修得した者に卒業を認める。

【理学療法学科ディプロマ・ポリシー】

卒業に際し、下記の資質を有することとする。

《求められる力》

- ①他者を尊重し、礼節を持って良好な人間関係を築く力
- ②社会の環境変化に適応し、行動する力
- ③成長欲求を持ち、学習し行動変容する力
- ④人々の健康と生活を支援するために必要な理学療法を実践する力
- ⑤目的達成のため、他者と協働しチーム連携を図る力

【作業療法学科ディプロマ・ポリシー】

1. 作業療法の専門性を発揮し実践するために必要な基本的知識と基本的技能を修得する。

- ①人間の構造や動作のメカニズム、疾病と障害像などを理解できる
- ②作業の多様性を認識し、作業療法理論を活用することができる
- ③相手の取り巻く環境を理解することができる
- ④多角的視点で事象をとらえることができる
- ⑤臨床コミュニケーション技能を身につけている
- ⑥基本的評価・治療技術を身に付けている
- ⑦科学的根拠に基づいた作業療法を実践する力を身につけている

2. 地域社会や医療・保健・福祉の分野で協業するために必要な分野の理解と社会的倫理観、礼節を身に付ける。

- ①チーム医療の一員として多職種の担う役割を理解できる
- ②各分野でのニーズに対応するため、情報収集・整理できる
- ③作業療法士としての役割の理解と責任の自覚ができています

④時代や社会の流れに対する洞察力を身につけている

⑤社会人としての教養と礼儀を基礎とし、自己の役割と責任を担うことができる

3. 他者を理解し信頼される人間性を形成するために振り返りと研鑽ができる。

①多様な価値観を受け入れ理解することができる

②自己成長のための振り返りができる

③自己や他者の理解に向けた主体的な取り組みができる

④誠意と熱意をもって相手とかかわることができる